

上智大学言語教育研究センター

『日本語集中講座 B』

I 講座概要

1. 授業スケジュール

- 月曜日から金曜日までの毎日、一日2コマ100分（1限9:00-10:40 / 2限10:55-12:35）

2. 必修科目のレベル

- 3レベル設定。
- 入学後、全員プレイスメントテストを受験し、その結果によって適切なレベルのクラスから履修する。

3. 日本語力の目安

- 少なくとも日本語能力試験（JLPT）N3 レベル以上または J-Test 準 D 級であること。
- 教育機関で、日本語を学習していた期間が半年以上であることを推奨する。

4. 学生身分

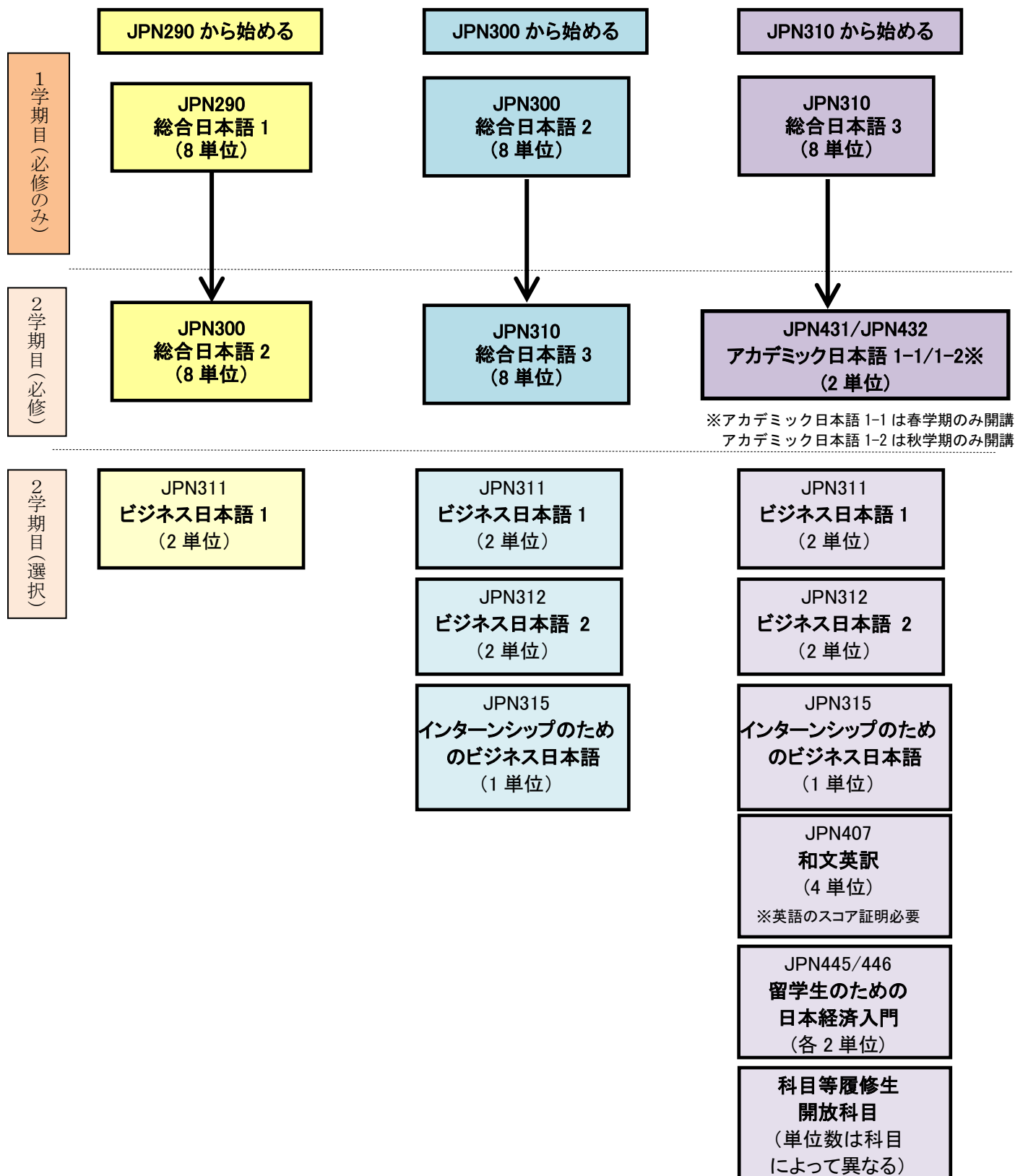
- 日本語集中講座 B を履修する学生は、言語教育研究センター（CLER）所属のノンディグリー生として在籍し、学位取得を目的とせずに、フルタイムで日本語科目を履修し単位を取得する。

5. 履修単位の上限と履修登録の必要時間数

- 履修単位の上限は1学期あたり20単位までとする。
- 週6コマ以上（10時間以上）の履修が必要となる

I 授業科目一覧

学期初めに日本語プレースメントテストを受験し、総合日本語1、2、3（290、300、310）のいずれかのレベルから履修を開始する。原則として、1学期目は、「総合日本語」1科目しか履修できない。



II 科目履修の流れ (3桁の数字はJPNから始まる科目のナンバリングを表す。)

・290にプレイスされた学生

1学期目	2学期目
【必修】290 (総合日本語1)	【必修】300 (総合日本語2) + 【選択】311 (ビジネス日本語1) を追加で履修可能

・300にプレイスされた学生

1学期目	2学期目
【必修】300 (総合日本語2)	【必修】310 (総合日本語3) + 【選択】311 (ビジネス日本語1)、312 (ビジネス日本語2) 315 (インターンシップのためのビジネス日本語) を追加で履修可能

・310にプレイスされた学生

1学期目	2学期目
【必修】310 (総合日本語3)	【必修】431 または 432 (アカデミック日本語1) + 【選択】必修科目に加えて、下記の選択科目を合わせて合計7コマ以上、履修することが必要 311 (ビジネス日本語1)、312 (ビジネス日本語2)、 315 (インターンシップのためのビジネス日本語)、 445/446 (留学生のための日本経済入門)、 407* (和文英訳) ※履修には英語のスコア証明が必要、 科目等履修生開放科目 (300科目以上/学期により異なる)

1. 履修上の注意

- 履修単位数の上限は1学期あたり20単位までとする。
- 1学期あたり、週6コマ以上 (週10時間以上) の履修が必要となる。

2. 「科目等履修生開放科目」について

- 「科目等履修生」とは、上智大学の所定の審査に合格し、学期ごとに定めている指定科目を一定数履修できる者を指す。
- 「科目等履修生開放科目」の中で、国際教養学部が開講している授業 (教授言語が英語) については、所定の英語力 (TOEFL iBT79点以上など) を満たした場合、プレイスされた日本語のレベルにかかわらず1学期目から履修できる。英語力の条件についての詳細は「履修要覧」の「国際教養学部開講の履修について」のページを確認し、また、各科目のシラバスも参照すること。
- 1学期目に310 (総合日本語3) にプレイスされた学生は、2学期目から「科目等履修生開放科目」を履修することが可能である。初回の授業に出席し、レベルや内容を確認し、その科目の担当教員の許可を得た上で、履修登録の手続を行う。

Ⅲ 日本語科目概要

(1) 漢字圏からの学生向け科目

JPN290. 総合日本語 1 (Integrated Japanese 1) (8 単位)

この科目は、中級学習者を対象とし、日本語の実践的な運用能力、特に日常生活や学校生活で必要となる会話力の育成に重点を置く。既習語彙や文型を使いながら自分のことや身近なことについて十分に話せるように練習する。さらに、社会的な問題や一般的な話題に関する文章を読み、関連するトピックについて自分の意見を述べる練習を行う。

使用テキスト：嶋田和子監修 できる日本語教材開発プロジェクト著 アルク出版

『できる日本語 初中級 本冊』 『できる日本語 中級 本冊』

『できる日本語 わたしの文法ノート 初中級』

・100分×10コマ/週 × 14週/学期 = 14,000分(233時間) /学期

JPN300. 総合日本語 2 (Integrated Japanese 2) (8 単位)

この科目は上級前半の学習者を対象としたコースである。大学で学べる学問分野の基本的なトピックに関するテキストを読み、文章の内容を理解するとともに、文章の構造、使用されている文型や表現を学ぶ。そして、そのトピックについて自分なりの意見を論理的に述べるができるようになることを目指す。また、各自研究テーマを設定したプロジェクトワークを課し、それを通して、レポートの書き方、プレゼンの練習を行う。このコースでは各人に合わせた発音指導を行い、相手に伝わる発話を身に付けることをめざす。

使用テキスト：堤良一・長谷川哲子著

『「大学生」になるための日本語 1』、『「大学生」になるための日本語 2』

①総合：5コマ/週 ②文章表現・文法：2コマ/週 ③口頭表現・聴解：3コマ/週 = 合計10コマ/週

・100分×10コマ/週 × 14週/学期 = 14,000分(233時間) /学期

JPN310. 総合日本語 3 (Integrated Japanese 3) (8 単位)

この科目は上級レベルの学習者を対象としたコースである。このコースはモジュール式となっており、単に日本語を学ぶだけではなく、現代社会の抱える問題、および、近現代の日本文学についても学ぶ。日本国内外で起こっている様々な問題について理解すると同時に、人間と社会・世界とのつながりを考える。さらに、自分でも調べて、それをプレゼンし、議論し、レポートにまとめるということを通して、アカデミックな日本語力を高めることをめざす。また、日本文学の授業では、小説に描かれている人物や時代背景に目を向け、日本人の考え方や日本社会についての知識を深めると同時に、自分自身の考え方や自国の文化についても内省する。これらと並行して、日本の慣習を理解し、より適切で正確な日本語運用能力を身に付けることを目標とし、日本社会で遭遇するさまざまな場面を取り上げた会話練習や、メールや手紙を書く練習を行う。

使用テキスト：各授業で指定

①現代社会：4コマ/週 ②文学：2コマ/週 ③ライティング：2コマ/週 ④会話・手紙：2コマ/週
= 合計10コマ/週

・100分×10コマ/週 × 14週/学期 = 14,000分(233時間) /学期

(2) 専門的日本語科目**JPN311. Business Japanese 1 (2 単位)**

この科目は中級レベルの科目を修得した学生を対象とし、ビジネスの出発点である基本的なビジネスマナー（挨拶・社内社外など場面に応じた敬語表現等）を身につけ、実践することをめざす。また、ビジネス場面の中でも特に商談に焦点を当て様々な機能表現（説明する・交渉する・説得する等）を学ぶとともに、企画の立案・具体化、プレゼンテーションという流れを通し、日本企業が求める「課題達成能力」を養うことも目標としている。なお、企業訪問も予定している。

使用テキスト：米田隆介、藤井和子、重野美枝、池田広子 著 『新装版 商談のための日本語』
近藤 彩、品田潤子、金孝卿、内海美也子 著 『課題達成のプロセスで学ぶビジネス・コミュニケーション』

履修に必要となる前提科目：JPN290

・100分×2コマ/週 × 14週/学期 = 2,800分（46時間）/学期

JPN312. Business Japanese 2 (2 単位)

この科目は上級前半レベルの日本語学習を終えた学生を対象とし、ロールプレイ等により場面や人間関係に考慮し、様々なビジネスシーンに適した高度な日本語力・コミュニケーション力を身につけることをめざす。また、ケース学習により、異文化に起因する問題を発見し解決策を提案できるようになるとともに、日本企業が求める「異文化理解能力」を養うことも目標とする。さらに、プロジェクトワークや企業訪問等を通し、日本企業への理解を深め、日本企業が求める人材についても考えていく。

使用テキスト：村野節子、山辺真理子、向山陽子 著 『ロールプレイで学ぶビジネス日本語 グローバル企業でのキャリア構築をめざして』

履修に必要となる前提科目：JPN300

・100分×2コマ/週 × 14週/学期 = 2,800分（46時間）/学期

JPN315. Business Japanese (Preparation for Internship) (1 単位)

この科目は上級レベルの学生で、将来、インターンシップへの参加や日本企業への就職を予定している人を対象とする。インターンシップ先の探し方・企業文化・業界及び企業研究の方法・自己分析の方法を学んだ上で企業研究の発表・エントリーシート作成・模擬面接を行い、日本での就業準備を積極的に進めていけるようになることを目標とする。また、ケース学習やロールプレイにより、ビジネスシーンで必要となる考え方や態度及びビジネスマナー・慣用表現等も併せて学び、ビジネスシーンにおける日本語運用能力を向上させることもめざす。

履修に必要となる前提科目：JPN300

・100分×1コマ/週 × 14週/学期 = 1,400分（23時間）/学期

JPN431. Academic Japanese 1-1 (2 単位)

この科目は、日本語で行われる講義科目を履修する際に必要となる学習スキル、特に、「読む・書く」のスキルを向上させることを目的とする。「読む力」については、社会的・学術的な文章の読み方の技術を学び、さまざまなテーマの新聞・評論・専門書を読む練習、それらを要約する練習、それについて自分の意見を述べる練習を行う。「書く力」については、大学の授業で課されることの多い報告型レポート・論証型レポートを取り上げ、各レポートの構造と論理展開の仕方、レポートにふさわしい文体や表現、引用の仕方、各論に用いられる特徴的な表現を学び、レポート作成を行う。

履修に必要な前提科目：JPN310

・100分×2コマ/週 × 14週/学期 = 2,800分(46時間)/学期

JPN432. Academic Japanese 1-2 (2 単位)

この科目は、日本語で行われる講義科目を履修する際に必要となる学習スキルを向上させることを目的とする。特に、情報収集した内容や意見を論理的にわかりやすく伝える口頭能力を身に付けることを目指す。授業では、効果的な発表をするための技術(発表の型と表現、資料作成の方法、質疑応答の仕方など)や、議論する力を伸ばす技術(司会・討議者の役割と表現、さまざまなディスカッションのタイプと表現、説得力のある発話)を学び、社会的・専門的課題についてのスピーチ、プレゼンテーション、ディスカッションを繰り返し行う。

履修に必要な前提科目：JPN310

・100分×2コマ/週 × 14週/学期 = 2,800分(46時間)/学期

JPN445/446. 留学生のための日本経済入門 1/2 (各 2 単位)

この科目は、大学の学習・研究活動に必要な日本語力や学習スキルの獲得と、経済学の専門的な知識・理解を同時に深めることを目標とした、CLIL科目(※)である。経済学専門の教員と日本語専門の教員の指導により、日本の経済事情を題材にした講義の聞き取り、発表、ディスカッション、レポート作成などの練習を行う。

履修に必要な前提科目：JPN310

※CLIL=内容言語統合型学習

・100分×2コマ/週 × 14週/学期 = 2,800分(46時間)/学期

JPN407. Translating Japanese to English: Theory and Practice (4 単位)

現代日本文を英語に翻訳する際の基本的原則を、例示、問題、そして翻訳のモデルを通じて提示する。コミュニケーションに対する文化的・言語学的障壁について議論する。正確性、明瞭性、創造性を修得するための方法を強調する。

履修に必要な前提科目：JPN310

なお、本科目を履修する場合は、英語力についても一定の条件を満たす必要がある。条件については、『履修要覧』の「国際教養学部開講科目の履修について」のページを参照すること。

・100分×2コマ/週 × 14週/学期 = 2,800分(46時間)/学期